

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                |
|-------|----------------|
| 施設番号  | 66-1487        |
| 施設名   | 子どもの森ゆうぱーく 保育園 |
| 施設所在地 | 町田市南町田4-33-1   |
| 法人名   | 社会福祉法人貴静会      |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

水遊びの時期に地面が水で泥に代わり、踏んだり触ったりして変化を楽しんでいた為。

## 2. 活動スケジュール

10月 絵本をみて自然物に興味を持つ

(どんぐり)

11/6 (水) 公園の自然に触れる。

11/7 (木) 散歩を持って公園に行く。

11/11 (月) 7日に拾ったどんぐりの選別

11/22 (火) 園庭でのどんぐり探し

(霜柱)

1/10 (金) 散歩先の公園の地面に霜柱があることに気づく。

1/16 (木) 前回と同じ公園での変化に気づく。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ 散歩バック
- ・ ペットボトル
- ・ 土
- ・ 鉢植え
- ・ 水
- ・ じょうろ

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

(どんぐり)

牛乳パックで作成したお散歩バックやペットボトルにどんぐりを拾い集め、大きさや形の違いを見る。

選別ではどんぐりを大きさを分けて、ペットボトルに見えるようにして入れた。芽が出ていることに気づき、水耕栽培や土での栽培を試みる。

後日、年長児が拾ってきたどんぐりを園庭に隠し、探して遊ぶ。

(霜柱)

散歩先で霜柱を探す。後日気温の低い日に再度探しに行くが溶けて泥になっていた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(どんぐり)

意欲的に拾い集めたり、大きさや形を厳選していた。また、異なる入れ物を用意したことで入れ物によっての見え方の違いや音の違いを楽しんでいた。中でも、選別をしている時にどんぐりから芽が出ていることに気付いた子が1人いたが、1つ見つけると周りの子も芽が出ているものを探し影響されていた。水耕栽培の物は窓辺に置き子どもたちからも見えるようにし、土での栽培は子どもたちに植えてもらった。

(霜柱)

霜柱を発見した日はじっくりと地面を見ていた。保育者が掌の上に霜柱を乗せてみせると指で触ったり溶けることに驚いていた。また、冷たい事に気づいたり踏んだ感触がサクサクしていることに気づき楽しんでいた。後日遊びに行くに泥になっており、「霜柱ないね」と子どもから発する姿が見られた。泥になってしまったが、それでの遊びも楽しんでいた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

どんぐりは、子どもにとって身近に感じ、親しみやすい素材だった。公園で見つけると手に持ちきれないほど、また、散歩バックに入りきれないほど集めている姿を見ると自然の偉大さを感じた。持ち帰ってきたどんぐりから目が出ていたことにも驚き、その後の生長を子どもと一緒に期待し、保育者も楽しみにすることができた。子どもたちの発見や観察から保育者もワクワクすることが多かった。

霜柱では、最初に公園に行き職員が見つけ、子ども達を読んで霜柱があることを伝え実物を見せ触って見るを行なった。その時は、不思議そうに見ながらも、みな、手に取り喜んでいた。数日たち、再びその公園に行くと、以前霜柱があった場所に駆け寄り、霜柱を探し始め多賀、見当たらまかったことで座身思想にしている姿があった。日にちも立っているのに関わらず、霜柱と霜柱があった場所を覚えているのに感心した。